



京都府南部地域 聴覚障害のある児童生徒向け学習会及び保護者研修会 報告

日 時 令和元年7月30日（火）14：00～15：30  
場 所 京都府スーパーサポートセンター  
内 容 児童生徒 「自らのきこえについて知ろう」 講師 SSC聴覚支援担当 乾 佑輔  
保護者 「聴覚障害児童生徒が小中学校で身につけたい力」  
講師 京都府立聾学校 舞鶴分校  
教諭 西垣 志津嘉 氏

京都府南部地域の通常の学級に在籍する聴覚障害のある児童生徒向けに学習会と保護者研修会を行いました。最初に全体で話をした後に、児童生徒と保護者に分かれ、それぞれで学習会・研修会に参加していただきました。

保護者研修会では、京都府立聾学校 舞鶴分校 教諭 西垣 志津嘉先生に御講演いただきました。「自分のことを自分の言葉で伝える力」を育むこと、そのために必要なことを具体的事例を交えながらお話いただきました。あわせてこれまで関わった数多くの児童生徒自身の言葉や気持ちに寄り添ってこられた経験を基に、子どもたちの悩みや葛藤、それを受け止め支えていく家庭や学校の役割の大切さについても学ぶことができました。

児童生徒向け学習会では、コミュニケーション手段、手話や指文字の歴史等を学習、難聴理解クイズや場面に応じた補聴器の扱いの意見交流を行い、難聴のあるお子さん同士が触れ合いながら学ぶことができました。



## 【児童生徒・保護者の感想】

（児童） 補ちょうきを壊さないように気を付ける。

（児童） 耳を休ませるなど、これから生きていく上で必要な事が知れたと思う。

（保護者） “聞こえの補償は権利だけど、感謝が必要”という言葉が一番印象に残りました。

（保護者） 子どもたちの言葉は本当に参考になりました。